



東明

□令和4年12月1日発行
 □男鹿市立男鹿東中学校
 男鹿市船越字根木169番地

地域貢献活動を再開しました!

地域を愛し、地域の役に立つことの大切さを実感する東中生

本校では、コロナ禍以前、生徒が地域の福祉施設や保育所などに出向き、地域の皆さんと関わる活動や、施設の清掃活動などの地域貢献活動を実施していました。地域の一員として地域をよりよくしようとする態度を養うことや、地域の方々と物と関わって学ぶことのよさを実感できるようにすることを目的としています。しかし、コロナ禍においてそれが実現できなくなり、今年で3年目になりました。来年度は潟西中と統合し、ますます学区が広くなり、地域において生徒が活動できる機会が少なくなることも予想されます。

そこで、今年度は、コロナ禍においても東中生がそれぞれ住んでいる地域において貢献できる活動を検討してきました。コロナ禍が続いている今なお、地域の方々と直接関わる活動は困難であることから、コミュニティー・スクールの機能を生かし、公民館の館長様に可能な活動について相談をさせていただき、海岸清掃、湖岸清掃等を実施するに至りました。

脇本地区（生徒約60名）では、各町内会と連携し、脇本浜の海岸清掃を実施しました。約90名の地域の方々が一緒に活動してくださいました。



船越地区（生徒約170名）では、環境カウンセラーの鈴木様からご講話をいただくとともに、約30名の地域の方々もご協力くださり、船越浜の海岸清掃を行いました。



払戸地区（生徒約40名）では、若美支所の皆様のご協力のもと、八郎湖の湖岸清掃を実施しました。また、若美コミュニティセンター文化祭の後片付けの手伝いも同時に行いました。



当日は、学校から実施場所まで各自自転車で向かいました。全校生徒が颯爽と自転車をこぎ出す姿からは、活動に向けての意気込みが感じられました。随所で東中職員が交通安全指導を行いましたが、この時間帯に地域を運転中だった皆様におかれましては、生徒の安全にご配慮くださいましたことに、この場をお借りし感謝申し上げます。

今後は、東中生が自ら地域のためにできることを考え、地域の方々とともに実行できる地域貢献活動に育てていきたいと考えています。
 (文責 森山)

【生徒の振り返りから】

- ・来年も地域貢献活動に取り組みたいと思います。自分でもゴミを捨てないようにすることを心掛け、もし、捨てている人がいたら注意したり、自分が捨てたりできるようになりたい。
- ・男鹿の海を守るためにも、この活動は大事だと思いました。大きい縄のようなゴミを見つけたとき2、3人では無理でしたが、みんなが協力してくれてうれしかったです。縄を動かせたときには達成感を感じました。
- ・最初に集めた場所は人がよく通るので人の目が届きやすいけれど、離れるにつれてゴミの量が増えました。見えないから捨てても大丈夫という意識が出るのではないかと思います。きれいな場所に人はゴミを捨てません。だから、きれいにし続けることに意味があると思いました。
- ・海洋汚染が問題になっている中、このような活動が全国に広まればいいと思いました。今後もこういう活動に積極的に参加していきたいです。
- ・地域貢献活動でまた一つ東中生が団結することができたと思います。次の活動でもこの団結を見せていきたいです。
- ・先輩たちが進んでゴミを拾っていました。その姿がすごく格好よくて見習いたいと思いました。
- ・今回は学校から行ったけれど、町内でのボランティア活動にもこれから積極的に参加していきたいです。